

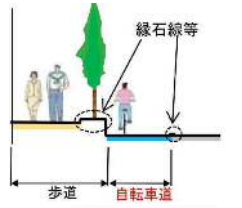

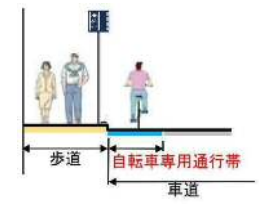

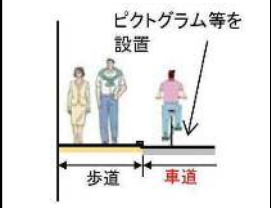



平成28年7月 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインの改定  
 平成29～30年度 大阪市内都心部の国道1号、2号の自転車通行空間の検討、設計  
 平成30～令和1年度 同区間について府警本部へ協議

(課題)左折専用レーンにおける自転車の誘導方法と安全対策

令和 2年3月 国道1号京橋地区(約470m)に矢羽根型路面表示を設置 ※府内の直轄国道で初  
 令和 3年度 国道25号、淀川大橋以西の国道2号の自転車通行空間の検討、設計  
 令和 4年度 国道25号、淀川大橋以西の国道2号について公安協議中

## 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(抜粋)

### ■基本的な整備形態(イメージ)

	A:自動車の速度が高い道路	B:A,C以外の道路	C:自動車の速度が低く、自動車交通量が少ない道路
分離方法	構造的な分離	視覚的な分離	混在
選定基準	速度が50km/h超	A,C以外	速度が40km/h以下、かつ自動車交通量が4,000台以下
整備形態	自転車道	自転車専用通行帯	車道混在
整備形態イメージ	 <p>緑石線等</p> <p>歩道 自転車道</p> <p>[一方通行] [双方方向通行]</p> 	 <p>歩道 自転車専用通行帯 車道</p> 	 <p>ピクトグラム等を設置</p> <p>歩道 車道</p> <p>[車線内の対策(歩道あり)] [車線内の対策(歩道なし)]</p> 
整備事例	 <p>[一方通行]</p>  <p>[双方方向通行]</p>	